

【僧定俊畠地売券】
そうじょうしゅんはたち うりけん

沽却 私領畠地事

合壹段者

在山城国紀伊郡大副里十坪 西繩本

右件畠地者、為東九条御領御奉行御得分
内、御知行無相違之处、依有由緒永代定俊
拝領畢、隨而当知行無相違之处、今依有
要用、代十貫文永代于藤原氏女所奉
沽却実也、為後証申出本所御教書・仁
平帳、加裏書上者、向後更不可有子細候、
万一就公私違乱煩出来之時者、不日可明
申之、猶以不事行者、十ヶ日中本利共
遂結解可糺返候、若乍如此申、無沙汰之儀
出来候者、可被申行罪科候、其時更不可
及一言子細候、仍為後日、沽却之状如件、

(一三七七)

永和三年七月廿六日 僧定俊(花押)

子息重■(花押)